

エリおばさん奮闘記 in 筑波②

筑波の学生生活も二年目を迎え、一年目のように学生が楽しいなどといったられない現在である。私のような社会人学生は、一般の学生と違って二役も三役もこなさなければならぬので、余程、計画的にやらないと、時間はサーッと過ぎてしまう。この一年間の学生生活の収穫といえば、学ぶ姿勢そのものを学んだことかもしれない。

筑波の学生全部ではないが、少なくとも体育研究課に属する学生は勉強の傍ら、自分の競技種目の練習時間はきちんと取ってこなしている。頭の切りかえ、整理の仕方が実にうまい。自分のしたい事がたくさんある人ほど、時間の配分がうまく、能率が上がるのだらう。燃えるものがない時は、どうも生活にめりはりが無いのは誰しもだ。

一般学生といえども勉強ばかりではあきてしまう。運動と学業のバランスが大切である。

同じ研究室にいるY君、弓と気功をやっている。彼にある時、「貴方の趣味は弓？」と聞いたら、「趣味は勉強、弓と気功は本業です」という返事が返ってきた。勉強が趣味!? 本人いわく「趣味というのは、したい時にして、したくない時にはしないもの。本業は、自分で決めたすべき事」と彼なりに

定義している。勉強を自由なものとしてとらえている。勉強好きではない私は勉強に対して構えていたし、ちょっと勤がいをしていたようだ。興味の延長上にあるものに突っ込んでいくことは、みな勉強なのだ。楽しんで興味の世界を広げることが学ぶ姿勢なのか、と改めて感じた。

些細なことだが、話をしている何かひよかかると言葉が出てくると、みんな自然に辞書を引いて、誰かがその意味を読みあげる。そして理解して前に進む。みんな一言、一行を大切にしている。いや、味わっているという感じだ。学生の雑談や、授業の合間に出てくる先生の様々な話が、私にはとても刺激になって、ためになる。授業から学ぶ知識も大切だが、彼らの余談から受ける影響も大きい。

学生たちは将来、学校教育関連事業に従事したいという人ばかりだ。楽しい学び方、能率のいい整理の仕方を体得し、幅広い見識と、りっぱな人格を身につけた人が多ければ多いほど、学校が、そして世の中がよくなるなどと言っている。そんなとき、社会人学生の私は、傍観者にさせられてしまっている。

(梶井映里・WSFジャパン会員)

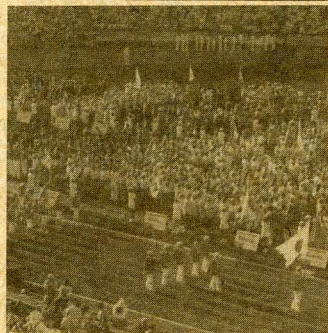
オリンピック
ムーブメントマガジン

OLYMPIAN

毎月14日発売
定価400円(税込)

定期購読と「オリンピック・クラブ」への誘い

- 月刊誌「オリンピック」の定期購読(1年12回分、送料とも5000円)を申し込まれると、「オリンピック・クラブ」に同時に入会できます。会員になるとメンバーカードを発行、オリジナルテレホンカードのプレゼント(全員)、オリンピック支援コンサートへの招待・JOCイメージソングのCDのプレゼント(抽選)のほか、JOC各種グッズの優先・特別価格販売などの特典があります。
- 申し込みは下の用紙に必要事項を記入し、購読料(5000円)とともに下記に現金書留でお送りいただくか、用紙を郵送のうえ下記銀行口座に購読料をお振込みください。
*お名前には必ず、フリガナをお付けください。
〒150 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(財)日本オリンピック委員会
企画開発部・オリンピック定期購読係 ☎(03)3481-2238
第一勧業銀行・渋谷支店 普通口座 2700456
財団法人日本オリンピック委員会



(キリトリ線)

名前	フリガナ	電話	● 年 月号からオリンピックの定期購読を申し込みます。
住所	〒		オリンピック・クラブに入会を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

財団法人日本オリンピック委員会 日本文化出版株式会社